

風を感じてトライ!

成田
ラグビースクール

ぼくたちは、昨年発足したばかりのラグビースクールです。現在、メンバーは3歳から中学3年生まで28人(うち女の子5人)。

毎週日曜日、加良部小学校グラウンドで行う練習では、年齢などで分かれたクラス別に、基本練習やミニゲームを行っています。

指導してくれるのは、永野慎也

代表をはじめとするクラブチーム・チヤオズの人たち。みんなとても楽しく、明るいコーチたちですが、時には厳しく、「味方や相手のプレーヤーに絶対文句を言つな」と注意されることもあります。



ぼくだってトライ!

楽しいのは、夏の合宿と試合に勝つこと。特に試合は燃えます。思い切り相手に当たり、ボールを持って相手をフェイントでかわして走り抜ける瞬間



相手を振り切りゴールへ

や、パスをつないでトライを決めたときなど



試合には全員が出場します

最高です。反対に、どろどろになって戦ったのに負けてしまつて疲れも増してしまいます。

スクールの目標は、ラグビーを通してたくさん友達をつくり、友情を築き上げること。向上心、楽しいラグビー、思いやりを言葉に、いつでも新しい仲間を受け付けています。一度ぼくたちの練習を見にきませんか。



パスは下から正確に

なかまと一緒(24) ●●

レッツ! ダンシング

玉造ラウンドダンス

わたしたちは、毎週火曜日に玉造公民館で、村越佐和子先生の指導を受けながらラウンドダンスを習っています。

ラウンドダンスはアメリカで生まれ、その特徴は、一曲一曲に振り付けが決まっていて、その動作を指示(すべて英語)する人がいることです。社交ダンスのように自由に踊るのではなく、輪になってカッパルが同じように踊るのがラウンドダンスです。

決めのポーズもバッチリ!



習い始めたときは、指示者の聞き慣れない英語で戸惑いましたが、基本となるステップを覚えると一曲通して踊れるので、新しいダンスにも次々とチャレンジできるようになりました。



軽やかに

ジックになっているんです。思い出しの曲が流れると自然と体が動き出します。

ダンスを始めてからとても健康になつたし、美容にも良いです。一つずつ難しいステップに挑戦し、指先から足先までヒタリと決まると、その満足感や爽快感は格別のもので、ラウンドダンスは、わたしたちの元気のもとです。



ラウンドダンスは元気のもとです

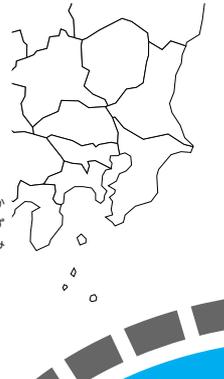
市民の

父親の口癖は 二宮金次郎

わたしのふるさは神奈川県小田原市です。戦国大名北条氏の城下町として栄えた、歴史ある町です。昔から交通の要衝で、今でも箱根・伊豆方面への入り口として多くの道路や鉄道が集中しています。市内には小田原城をはじめ名所旧跡がたくさんあるのですが、通過するだけの人が多いという話を聞くところと残念です。

実家は市の中心から3kmほど離れた蛸田というところで、近くにはアユ釣りの名所・酒匂川が流れています。あの「二宮尊徳」の生家にも近く、子どものころは「二宮金次郎尊徳」は蛸の明かりで勉強したというのが父親の口癖でした。酒匂川の堤防には、尊徳が治水のために植えたと伝えられる松の原木が今でも残っています。

小田原の名物といえはかまぼこ



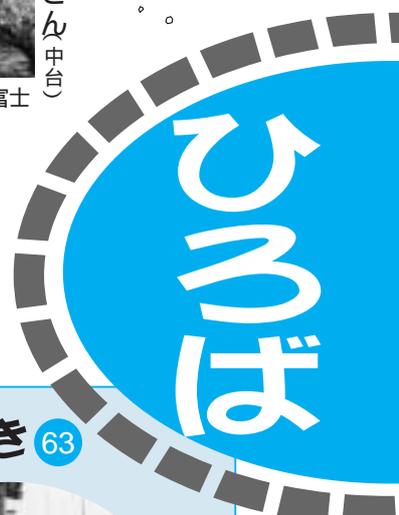
遠藤和海さん(中台)



曾我梅林から眺めた富士

梅干しです。かまぼこは特に有名ですが、実は梅干しの全国的な産地でもあるのです。市内各所に梅の木があり、中でも富士山を背景に約35,000本もの梅が咲き誇る「曾我梅林」は本場に見事です。来年の春は、ぜひお出掛けください。

空港勤務の関係で3年前に成田に越してきました。こちらは学校などの施設が充実していて家族全員がとても気に入っています。今、子どものサッカークラブ(NFC)に夢中で、休日は試合や練習にと大忙し。おかげで多くの友人ができました。仕事柄、転勤は付き物。でも、住み良い成田を離れるのはわたし一人になりそうなのが悩みの種です。



ふるさとトーク(93) 神奈川県小田原市



小林真緒ちゃん(加良部)

こんにちは
赤ちゃん 81



迫田紘武ちゃん(玉造)

スクスク
のびのび 283

河原田健世くん(4歳)中台
時徳くん(2歳)

マラソンが得意で幼稚園では一番の健世くんと、ボールけりが好きでボールを持ったら放さない時徳くん。好き嫌い無く何でも食べるから、いつも元気なんだ。



ペット大好き 63



木内邦夫さん(押畑)
ノラ(メス・左) ラッキー(オス・右)

2匹は親子ではありませんが、親子のように仲良しです。毛が生え変わる時期なので、犬小屋の掃除は欠かせません。健康ですが、毎年かかりつけの動物病院で、狂犬病の予防注射を受けています。